

美術

1 美術科の学習にはこんなねらいがあります。

〈心を豊かにする〉

人は自分の思いやイメージを絵や彫刻などで表現することで、無条件の喜びを感じることができます。

〈美意識・想像力を高める〉

形や色彩などで表現したり、その特徴などを手がかりに鑑賞したりする活動を通して形や色を扱う力や、それらのよさを感じる力を身につけることができます。

〈分かり合う〉

先人や仲間の表現に触れ、味わうことは、感性を育むだけでなく、その背景にある文化や人間そのものを理解することにつながります。

2 家庭学習の方法

①『準備を大切に』

美術は、自分の想いを形や色で表現する活動です。道具や材料を完全にそろえることから、美術は始まっています。

②『一日一歩，三日で三歩』

初めに目標を持ち、終わりには反省点を明らかにして、次の制作につなげていきましょう。

③『弘法も筆を選ぶ？』－道具の扱い方－

美術では、いろいろな道具を使います。それらを正しく使い、生かせるようにしましょう。

ア 道具の使い方をよく知ること。

イ 道具はていねいに使うこと。

ウ 道具の使用後は、元の位置に戻しましょう。

④『後片付けを完全に』

制作活動で汚れたりゴミが出たりしたときは、授業の終わりに責任を持って後片付けをしましょう。

⑤『作品は作者の足跡であり，分身である』

完成作品は、家庭でも大切に保管して鑑賞しましょう。

どんな作品をつくるか、あらかじめイメージして制作することで、「創意工夫する力」、「感情を豊かに表現する力」、「成し遂げるための集中力」がつかめます。

自分が制作した作品は世界にひとつしかありません。自分の作品も友だちの作品もじっくり鑑賞しあって、それぞれのよさを発見しましょう。